

■ 彩都自然教室

■ 第1回 昆虫観察と虫のちよっとい話 (H22年6月6日(日))

初夏の一日、彩都の里山で虫たちを探した後、屋内でスケッチ。完成した絵を下敷きに加工しました。



■ 第2回 昆虫観察とおもしろ標本作り (H22年8月21日(土))

里山で見つけた虫たちで、バラバラ標本を作りました。夏休みの自由研究にも使えます。



■ 彩都バタフライガーデン

平成23年3月13日(日)、彩都バタフライガーデンの第1回ワークショップが行われ、約30人の参加者が苗木の植栽を行いました。

バタフライガーデンとは、草花と昆虫の関係に注目して、チョウが好む草花を中心に植えられた花壇や庭のことを言います。彩都西公園の一画を茨木市から借り受け、チョウと植生の関係や周辺環境との共生など、自然科学への理解を増進するとともに、草花の世話や手入れを通じて地域コミュニティの形成に寄与することをめざします。

【協力】狭山池バタフライガーデン、箕面公園昆虫館、大阪府立園芸高等学校



■ 彩都凸凹たんけん隊(彩都プレーフィールド)

平成23年4月2日(土)、4月に一部開園した彩都西公園、川合裏川と緑地を舞台に彩都凸凹たんけん隊が開催され、親子連れなど約150人の参加者で賑わいました。



たんけん隊では、彩都西部緑地軸の中心に位置する約10haのみどり空間における自然素材を活用し、子どもたちが自ら遊び(学び)場をつくり出すことをめざします。

午前の部は、新しい公園で宝探し。午後の部は、川合裏川に移動して春の生き物観察とカードづくり、青空わんぱく木工作、つるでかご編みなどに挑戦しました。



【協力】箕面公園昆虫館、大阪府立園芸高等学校

■ 彩都産学官連携シンポジウム

平成23年1月27日(木)、千里ライフサイエンスセンターにおいて、彩都産学官連携シンポジウムが開催されました。

「彩都における核酸医薬開発の現状」をテーマに、中澤隆弘氏(アンジェスMG株式会社 研究開発本部長)、今西武氏(株式会社BNA 代表取締役)に講演いただいたほか、複数の大学、研究所による研究発表などが行われました。



■ バイオビジネスアワードJAPAN

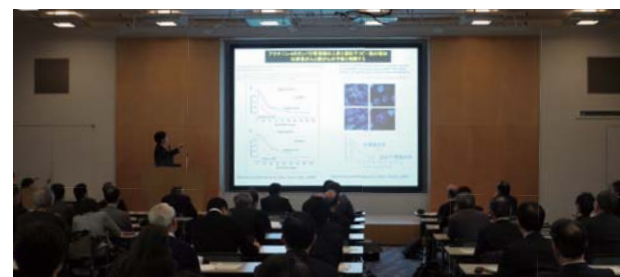
より市場ニーズに即した技術シーズの発掘を主眼に「顕彰及び情報発信」を行い、北大阪「彩都」を中核とする大阪へのバイオ関連企業の集積を促進するバイオビジネスアワードJAPANが、平成23年3月24日(木)に開催されました。以下の技術シーズが特に顕彰すべきものとして選ばれたほか、4件の彩都賞が決定しました。

■ バイオビジネスアワード

大阪大学大学院薬学研究科 細胞生理学分野
教授 辻川 和丈氏
「ABH3を分子標的とした前立腺がん、膵がんの
新規治療創薬」

■ バイオ先端知賞

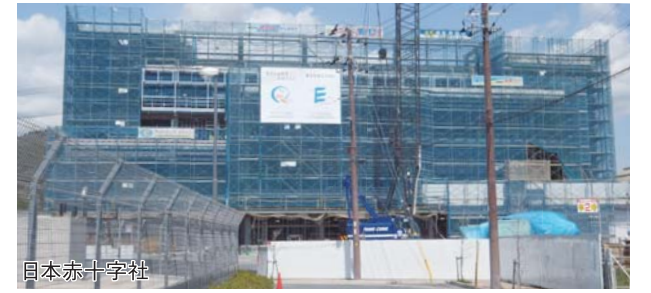
大阪大学微生物病研究所 情報伝達分野
教授 高倉 伸幸氏
「がん幹細胞の可視化による抗がん剤スクリーニング
技術の開発とその応用」



■ まちの状況について

■ ライフサイエンスパーク

平成23年4月1日(金)、(財)日本品質保証機構彩都電磁環境試験所が稼働しました。また、平成23年12月には日本赤十字社近畿ブロック血液センター(仮称)の一部開業が予定されています。



※H23.4.22現在、13施設が立地済み。(うち12施設が開所。区画数では全20区画中15区画が立地済みまたは建設中)

■ 彩都の丘学園



平成23年4月7日(木)、箕面市立彩都の丘学園(彩都の丘小・中学校)で開校式・入学式が行われました。1年生から9年生まで、71人の子供たちでスタートしますが、5年後には約800人になると想定されています。

■ 清水高架橋

平成23年夏頃、茨木箕面丘陵線と国道171号との清水交差点に、高架橋が完成する予定です。

